

京橋一丁目遺跡見学会について
—江戸の町人地（狩野家の屋敷跡）の発掘調査—

1.発掘調査場所

中央区京橋一丁目7～9番

2.調査期間

発掘調査 平成28年4月～平成32年5月中（予定）

※調査地点が複数の敷地にまたがっており、解体工事と平行しながら調査を行っているため長期間にわたっています。

整理調査 発掘調査終了後平成36年3月31日まで（予定）

3.調査の実施

土地所有者及び事業者 戸田建設株式会社

調査の実施者 中央区教育委員会

調査支援会社 加藤建設株式会社

4.遺跡見学会

(1) 日時

平成29年10月27日（金）・28（土）

両日とも午前11時～午後4時（雨天決行）

(2) 内容

ア 発掘現場における発掘状況の説明

イ 出土遺物の展示（陶磁器、瓦、金具類、銭貨など）

5.遺跡の性格と調査の状況

(1) 京橋一丁目遺跡の歴史的背景と特徴

江戸時代初期は中橋一丁目、大鋸町（おがちょう）という町人地および入掘であり、これ以前は「江戸前島」と呼ばれた半島状の微高地であった可能性がある。1640年代頃までには入掘が埋め立てられ、調査範囲は全域町人地となった。以後は江戸時代を通じて町人地であり続けた遺跡である。

なお、上記の中橋一丁目は江戸時代前期の段階で南伝馬町一丁目となり、明治時代に至る。大鋸町の一部は幕府奥絵師である江戸狩野四家の宗家である中橋狩野家の屋敷地であり、見学会の対象となる調査地点はこの狩野家の敷地である可能性が高い。狩野家が拝領していた屋敷地は町人地であり、かなりの部分が町人に貸し出されていた可能性がある。

江戸の絵師の発掘調査は本区では初めてであり、全国的にも極めて珍しい事例である。

(2) 検出された主な遺構

石組の下水、土蔵址、埋桶（便所跡）、その他建物址など

(3) 出土した主な遺物

火災の後片付けのために掘られたゴミ穴他から出土した陶磁器や瓦、金具類や銭貨など

(4) その他

見学会当日に上記遺構及び遺物を見ることができるとは未定です。

（問合せ先）中央区立郷土天文館（タイムドーム明石）

住所：中央区明石町12番1号

TEL：3546-5537・5538